

キャラクター名
九法院 衛 (くほういん まもる)

プレイヤー名

シンドローム	バロール サラマンダー	ワークス	UGN支部長D	カヴァー	高校生
オプション	ウロボロス	年齢		性別	
覚醒	死	衝動	妄想	初期侵食率	38 %
出自	天涯孤独	経験	喪失	邂逅	貸し

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	27
肉体	2	0	0			2	行動値	5
感覚	1	0	0			1	(非装備時)	5
精神	3	0	0			3	戦闘移動	10
社会	2	1	0			3	全力移動	20

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC			交渉	1	
回避			知覚			意志	4		調達	6	
運転:			芸術:			知識:			情報: UGN	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
電磁シールド		0	8	2		
氷華六花		0				氷盾: 氷の6枚の花弁の盾 ガード値: 15
黒氷六花		0				氷盾+グレイブガード: 蒼と黒が混じった半透明の6枚の花弁の盾 ガード値: 15+3d10
氷天六花		0				氷盾+グレイブ+魔人の盾: 漆黒の氷の6枚の花弁 ガード値: 45+3d10

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
ウェポンケース	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
Dロイス: 裁定者P		N		
荒城ヒイロ	P 監督	N 隔意		
理解者	P 信頼	N 劣等感		
猫川美亜	P 有為	N 無関心		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 18 残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
氷盾	2	2	オート	至近	自身	自動		
効果: ガード値+10								
炎陣	1	2	オート	至近	自身	自動		
効果: 行動を消費せずかばう。メイン1回								
グラビティガード	2	3	オート	至近	自身	自動		
効果: ガード値+2d10								
魔人の盾	2	4	オート	至近	自身	自動		
効果: ガード値+20 シーン1回								
孤独の魔眼	1	4	オート	視界		自動		
効果: 範囲(選択)を対象: 自身にする。シナリオLv回								
原初の赤(生き字引)	4	6	メジャー	視界	選択	意思		
効果: 情報判定の代わりに使用。グレイブ								
先陣の火	2	2	オート	至近	自身	自動		
効果: 先制+10								
混沌なる主	1							
効果:								
原初の紫(スタン・ル)`)	2	2	オート	至近	自身	自動		
効果: 白兵攻撃をガード時lv×2のダメージと放心を与える								
ディメンジョンゲート	★							
効果:								
ポケットディメンジョン	★							
効果:								
効果:								
効果:								

青葉市に住む自称普通の高校生
翠松学園の風紀委員長であり学園支部長であり将来のUGN支部長候補。
しかし当の本人はあまりやる気がない性格なのか力を使いたくないのかいつも周りから「もっとやる気出せ」とかいわれつつもいらないことを頼まれて結構慕われている・・・本人は否定しているが。口癖は「めんどくさい」
自称普通の高校生としており戦闘に関しては入りたてのオーヴァードにすら負けぶっちゃけこれといって攻撃手段を有していない・・・が守護、という点なら誰にも負けない突飛した力を持っている。自分からはあまり言わないが実は二つ名もちである。

六華の守護者とは衛が使う守護のエフェクトはすべて6枚の花弁を横して展開され見た目が非常にきれいで密かに女性オーヴァードに人気だとか・・・(

小さいころに両親をオーヴァード絡みの事故で亡くしておりそこで衛自身一度死んでいる。しかし身の内に巣食っていたレネゲイドが活性化、オーヴァードとして蘇生された。その際まだ両親は生きており自身は身の内の力をすぐさま認識し両親や他の乗客を守ろうとするも覚醒したての自身にそんな力が出るわけもなく自身を除いて全員が死亡した。その出来事から自分は力がない”自称一般人”と言っている。その後事件を解決したUGNにつれられてその実力を買われて今の生活を送っている。やる気がない、やら力を使いたくないのは過去の事件を少なからず引きずっているせいである

本人はあまり目立たないように行動しているが、基本めんどくさがりなため人を見ていないときはゲートで移動したりポケットディメンジョンでいるんなところにショートカットを作っている。そのため一般生徒から学校の七不思議に風紀委員長が関わっているとかがいわれている。日々
・行き止まりのはずがいつの間にか風紀委員長が消えていた
・気配もなくどこからともなく現れる風紀委員長
・学校各所にある謎の開かずの扉から風紀委員長が出てくるところを見た
・ピッキングで空けた生徒もいたが扉の向こうはただの壁だった
などなど・・・